

## 新田功

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学政経資料センター 公開日: 2013-05-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 飯塚, 仁之助 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/15032">http://hdl.handle.net/10291/15032</a>

# 新 田 功

(専任助手, 経済統計学専攻)

新田功君は明治大学時代3, 4年と吉田忠雄教授担当のゼミに参加し, 大学院修士課程においても引き続き吉田教授指導の統計学を主専攻とし, 博士課程になって私の指導する統計学を主専攻とするようになり, 今年4月政治経済学部の手助に採用されました。大学院在学中は, 修士論文として「フランス人口政策の発展」, また修士課程修了後に「フランスの人口政策の展開」というテーマで論文を作成し, 博士課程になって「所得分布の国際比較に関する一論——先進国の所得分布についての統計的研究——」及び「社会指標の総合化に関する若干の考察」というテーマで論文を二編作成し, 明治大学大学院紀要に掲載されました。

修士論文及び修士課程終了後に作成した論文は共に, 吉田教授指導のもとの当然の結果として, 人口政策に関するものですが, 経済統計学を専攻する者にとっても研究しなければならない領域ですし, また博士課程中に書かれた二編の論文は, 経済統計学を専攻する者にとって興味深い問題であり, とりわけ後者は, 社会全体の福祉の動向を明らかにするための指標を, どのようにして作成するかという, 現代において重要且極めて困難な問題の一つです。このような論文を, 広い意味での同じ統計学という分野を専攻したとはいえ, 主専攻を経済統計学に変えて僅か3カ年間に, 色々な角度からかなり深く論及することが出来るようになったことは, 彼の並々ならぬ研究意欲の結果であることを物語っています。

大学の立派な教員になるためには, 研究ばかりでなく教授法を学ぶことも重要なことと思ひ, 毎週授業2回とゼミに出席させていますが, 担当者の私より彼の方が相談しやすいのか, 卒論の相談やら質問も多く受けています。従って, 新田君が現在もっている強い研究意欲と学生への愛情とを今後も持ち続け, 将来立派な教授になられることを, 今から大いに期待しています。

(飯塚仁之助・記)